

…勉強会を開催しました… 7月2日(土) 13:30～15:30

# 自閉症スペクトラムの人の 「日常の暮らし」を支援する



## 講師:浮貝 明典 氏

(特定非営利活動法人 PDDサポートセンター グリーンフォレスト)

最重度の知的障害を持つ自閉症の人から、知的に遅れがない発達障害の人までと、幅広いASDの生活支援を行ってきた経歴を持つ。横浜やまびこの里の日中支援員を経て現職。高機能ASDの人の生活支援(サポートホーム事業)を実践している。また、「発達障害のある子の自立に向けた支援(萩原拓編著、金子書房)」の分担執筆も。

平塚市民活動センターにて勉強会を開催しました。参加者は32名。AS-paceでは過去2回浮貝さんをお迎えして勉強会を開催しましたが、今回はほとんどの方が浮貝さんのお話を聴くのが初めてでした。診療や療育・相談は当事者が行って支援を受けるのですが、浮貝さんたちは生活場面で支援をされています。そこでのASD当事者との関わりを通して得たか“かわりの基本姿勢～本人の考えや行動を承認する(否定しない)～”は、ASD当事者を尊重したものです。

レジメでも示してくださった「大人になって本当に大事なこと～自律に必要な力～」をご紹介します。

**・自分を知る力 ・人を頼る力 ・計画する力 ・継続する力 ・自分を統制する力 ・指示に応じる力**

後半は具体的な事例をあげていただき、実際の場面をスライド写真で見せていただきました。

なかなか手ごわい！？感じの写真や事例もありましたが、こういった実際の例は本当にリアリティがあります。参加した皆さんのアンケートでは、「とてもわかりやすく、理解しやすい話だった」という声がありました。

私が一番衝撃的だったのは、「相談すべき内容がわからなければ相談にならない。そこに相談の限界がある」という言葉でした。

きっと今日参加された皆さんは、「聴けて良かった」と思っているでしょう。それ程内容の濃いお話でした。